



学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。評価いただいた内容については学校全体で真摯に受け止め、学校発展のための努力を重ねてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

群馬県立藤岡北高等学校 学校評価一覧表 ① (令和2年度版) (様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	地域との交流や地域への貢献を目的とした活動や行事等に生徒の85%以上が満足している。	活動の目的を明確に理解させるために、事前・事後指導を充実させるとともに、専門的知識・技術の向上につながるよう、職員間で連携を図る。	A	A	コロナウイルス感染症対策のため、実施できない活動が多くなっているが、活動内容を工夫し、交流活動の目的を達成できるよう、指導の充実を図る。	
	II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①「授業が分かりやすい」と75%の生徒が答えている。 ②資格取得に向けた指導に、生徒の70%以上が満足している。	生徒理解に努めるとともにICT機器の活用やグループ学習などで生徒が主体的な学習活動に取り組むことができるよう授業改善を図る。 生徒の将来や専門性を高めるために必要な資格、検定を生徒及び保護者に分かりやすく明示し、主体的な資格取得への働きかけを実践する。	A	A	臨時休業における学習進度の遅れを取り戻すことができるよう、生徒の実態に応じたICT機器の活用や学習内容の精選、教材の工夫等の授業改善に取り組む。 各種検定が日程の変更や中止の措置をとっている現状から、生徒の進路や学習の深化に向けた計画的な資格取得指導に取り組むとともに、保護者への情報提供を密に行う。
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	授業や「朝学習の時間」の学習に対して、意欲的に取り組んでいると自己評価している生徒が、70%以上である。	生徒が意欲的に学習に取り組むよう、授業の展開や身近な教材の活用などを工夫するとともに、生徒及び職員が学習成果を実感できる指導に努める。	B	A	生徒が意欲的な学習に取り組めるよう、授業改善や教材の工夫、確認テストの実施等を行い、生徒や保護者、職員が意欲的に学習に取り組んでいると実感できる教育活動に努める。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。 ②学校生活全般における身だしなみの改善・挨拶指導が十分に行われていると評価する生徒が70%以上である。	職員会議・学年会議等の議題として情報交換を実施し、すべての教職員間で情報を共有し、組織的な指導を行う。 職員間で連携をとり、HR・授業中における指導を充実させ、登校時の挨拶運動・HRなどで身だしなみ、挨拶指導を行う。	A	-	職員会議、学年会議などを通じて生徒情報を共有できていると感じている職員は多いが、やや不十分と感じている職員もいるため、すべての職員に情報が伝わるよう努める。 生徒・保護者が高評価であるのに対し、職員の評価の方が低いので呼びかけを続け、全職員の共通理解を図る。	
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	いじめの未然防止に努め、早期発見・早期対応に努めていると評価する生徒が80%以上である。	日常的にきめ細かな生徒観察を行い、懸念事項があれば早期に対応、情報共有する。特にSNSの利用については、専門機関と連携して指導に取り組む。	B	B	生徒や保護者には取り組みの様子が伝わらない現状から、面談や講習会の充実を図り、生徒・保護者が安心できる環境づくりに努める。	
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。		①遅刻率が0.8%以下である。	遅刻届を利用し、状況の把握と保護者との連携をもって指導し、生活習慣の向上を目指す。	B	-	遅刻率は6月7月の平均で0.8%を若干上回っているが、年度当初は例年より減少傾向でスタートできたので、今後も崩れないように、さらには減少を目指す声掛けを継続する。欠席率は平均1.2%となっているが、コロナ感染疑いによる出席停止なども影響していると考えられるので、今後も声掛け等を続けていく。
			②欠席率が1.5%以下である	きめ細やかに個々の対応を行い、本人・保護者との連絡を密にし、必要に応じて面談を実施する。長期欠席者に対しては、教育相談係やスクールカウンセラーと連携した生徒理解と原因把握に努め、減少を図る。	A	-	

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	改善策
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導	7 計画的な指導を行っていますか。	学校から提供される進路情報や進路関係行事等が進路を考えるうえで役に立っていると評価する生徒が80%以上である。	キャリアパスポートやポートフォリオ等を使って進路行事の事前・事後指導を行うことで、進路学習の充実を図る。	A	A	進路行事前にニーズを的確に把握し、生徒及び保護者が求める情報を提供できるように努める。キャリアパスポート等を効果的に活用する。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①自己の生き方と将来の職業について考えている生徒が75%以上である。 ②目標とした進路を実現できた生徒（3年生）が90%以上である。	学習・部活動・学校行事等で生徒に自己の生き方と将来の職業について考えさせる指導を行う。 職員間の情報交換を充実させ、学校全体でキャリアカウンセリングできる体制を構築する。	A —	A A	引き続き、教育活動の様々な場面で生徒に自己の生き方と将来の職業について考えさせる指導を行う。 職員間で生徒の進路希望を共有し、生徒全員が進路実現できるよう、組織的、継続的な指導を行う。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	マスメディアやWebページ、連絡メール等から「学校の様子がよく分かる」と評価する保護者が80%以上である。	分かりやすい内容やタイムリーな情報発信で、本校生徒の活動状況を積極的に伝える。	A	A	緊急連絡や臨時休業後の教育活動の情報発信等Webページ、連絡メールの必要性が高まっている実態からより迅速に分かりやすい情報発信を実践する。

1 日 体 験 学 習 を 実 施 し ま し た

10月3日（土）に、中学生向けの1日体験学習会を行いました。



全体会も間隔を広く取って開催

例年は夏休み中に同様の行事を2日間で実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため夏休みには開催できなかったため、この時期に1日での実施となりました。午前の部は藤岡市内の中学校の生徒を対象にし、午後の部は市外の中学校の生徒を対象にして開催しました。午前午後とも多数の参加者がありましたが、密を避けつつ授業見学と専門教科の体験学習とに参加してもらいました。



バイオビジネスコース



フードビジネスコース



環境工学コース



ガーデニングコース



園芸福祉コース



フローラルライフコース